



ごあいさつ

山田町議会議長 佐々木 良一

創意と工夫で希望の年に

新年明けましておめでとうございます。町民の皆さんは、健康で希望に満ちた新春を迎えられたことと心よりお喜び申し上げます。昨年は、皆さんの力強いご支援によりまして議員活動に専念し、本町の発展に微力を尽くすことができましたことに対し、議会を代表して厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、多くの出来事がありました。

国内外の政治経済、社会情勢は依然として不透明な状況が続いており、中でも、高齢化や情報化社会の進展、デフレ不況やリストラ、雇用の維持、さらに本町にあっては基幹産業としての水産業や地元商店街の不振など、明るい展望は望めず、深刻な事態が続いております。また、経済全般を見ても、その産業力は弱体化しており、早急な手当が望まれます。国では地域再生本部を設置して地域経済の活性化を強力に進めるとしており、今年こそ、明るさの見える政策推進を期待しているところです。

このように、町政を取り巻く環境は大変厳しい状況下にありますが、厳しさを増すばかりの財政状況の中で、いかにして産業や観光の振興と町民生活の安定を図っていくかについて、一層の取り組みが求められており、町政の動向を的確に見極め、産業基盤や生活基盤の整備あるいは社会福祉施設の整備に積極的に取り組んでいかなければなりません。

複雑多岐にわたる行政需要や、魅力ある町づくりのための事業の推進に創意と工夫を凝らし、町民の福祉の向上と町政の発展のため一層の努力をしていきたいと考えております。今後とも一層のご支援とご協力を申し上げ、皆様方のご多幸と町のますますの発展を祈念し、議会を代表しての挨拶といたします。

12月定例会のあらまし

南小学校で学童保育を実施 放課後児童クラブ条例を制定

十二月定例会は、十二月九日から十二日まで四日間の会期で開かれました。一般質問（六ページ七六に掲載）には十二人が登壇し、行財政改革や、町の活性化策、学校給食問題など幅広く町政について質問しました。町からは、放課後児童クラブ条例や補正予算など、議案八件が提案され、審議の結果すべて原案どおり可決されました。このほか「県立病院改革基本プラン（案）」に関する意見書や「イラクへの自衛隊派遣に反対する意見書」など議員発議案三件が提案され、いずれも原案どおり可決し、四日間の会期を閉じました。

平成十六年四月から、山田南小学校の空き教室を活用し、子育て支援事業の一環として、学童保育を行う「山田町放課後児童クラブ条例」が制定されました。この条例は、保護者が就労などにより、昼間家庭で保護を受けることができない小学低学年の児童に対して、適切な遊びと生活の場を提供し、児童の健全育成を図ることを目的として実施するものです。主な条例の内容と質疑は次のとおりです。

・利用できる児童は、南小学校の学区の児童で、小学一年生から三年生まで。
・利用時間は、放課後から午後六時までを予定。
・利用料は、児童一人につき月額五千円。

他の小学校への対応は
問 南小学校の児童だけが対象では不平等にならないか。
答 昨南小のアンケートを取った結果、希望人数が多かった。初めての事業であり、南小をモデル地区として実施したい。

問 他の小学校についてはどういう手立てを考えているか。

答 要望があれば考えるが、補助金の関係もある。国の基準では、二十人以上となっており、少人数では、この事業を実施することは困難である。

問 指導員は何人ぐらいか。また、採用する指導員に資格が必要か。
答 指導員の数は二人、資格は教員免許を有するもの、もしくは他の市町村で学童保育に携わった経験のある人を対象に公募したい。

問 校舎、校庭利用ということで、事故などが起きた場合、責任の所在が不明確にならないか。
答 そのことについては、今後検討していく。



4日間の会期で開かれた第4回定例会

●議会で決まった人事



田代省平さん

■人権擁護委員候補者 田代さんを再推薦

平成16年4月30日に任期満了となる人権擁護委員の田代省平さん(72)＝八幡町＝を同委員候補者として再推薦することがまりました。任期は向こう3年間です。

●発議案3件を原案可決

12月定例会では、次の議員発議案が提案され、原案どおり可決されました。その後、意見書については、政府や関係機関へ提出されました。

- ◆県立病院改革基本プラン（案）に関する意見書
- ◆イラクへの自衛隊派遣に反対する意見書
- ◆町長の専決処分事項の指定について